

# SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES REPORT

住友ゴムレポート

第128期 中間報告書

2019年1月1日 ▶ 2019年6月30日



## デジタルイノベーション推進に向け新たな領域を追加・拡大

### SMART TYRE CONCEPT

回転速度の細かい変化を解析し、路面・タイヤをモニタリング  
自動運転車の高度化にも寄与



**New**  
ソリューション  
サービス

IoT開発企業と  
ソリューションシステム構築

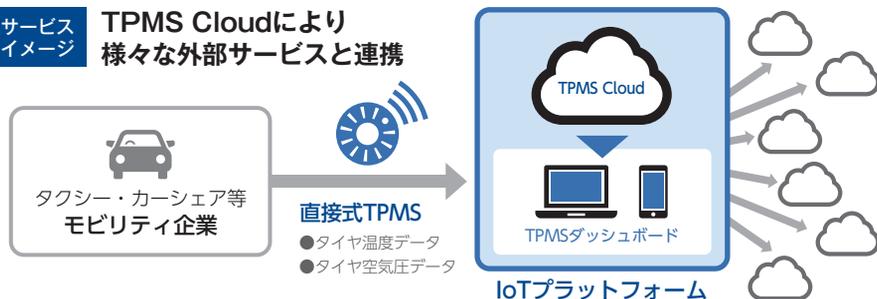
当社では次代を見据えて、新しいモビリティ社会で求められる性能を実現する技術開発コンセプト「SMART TYRE CONCEPT」に新たなソリューションビジネスの領域を追加・拡大してまいります。既に進めている3件を以下でご紹介します。

#### 1 タイヤ管理ソリューションの展開のため、IoT開発企業2社と業務提携

カーシェアリングなど次世代移動サービス「MaaS (マース)」の進展・自動運転等のドライバーレス化が想定されている中、タイヤ管理の自動化や予知保全サービスの提供等、タイヤ・車両管理ソリューションがさらに重要となってくると考えています。

そのような中、トライポッドワークス(株)、SYSGRATION LTD.の2社と業務提携契約を締結。直接式TPMS (タイヤ空気圧監視システム) によるタイヤ空気圧管理ソリューションの展開や、他のデジタルツールを用いて得られるタイヤデータを利用したソリューションシステムの構築を進めていく予定です。

サービスイメージ TPMS Cloudにより  
様々な外部サービスと連携



■ トライポッドワークス株式会社 (仙台市青葉区 2005年設立)

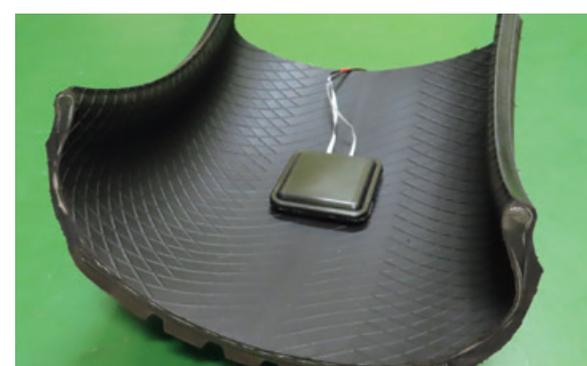
事業内容：●TPMSソリューションをはじめとする自動車向けIoTサービスの開発・販売  
●情報セキュリティ、クラウドサービスの開発・販売

■ SYSGRATION LTD. (台湾 台北市 1977年設立)

事業内容：●TPMS、周辺機器の製造および開発

#### 2 関西大学と共同で静電気によるタイヤ内部発電技術を開発

当社は、関西大学・谷弘詞教授と共同で、静電気を利用した発電デバイス (エナジーハーベスト) をタイヤの内側に取り付け、回転によって電力を発生させる技術を開発いたしました。



タイヤ内側に取り付けた発電デバイス

これは静電気の種類である摩擦帯電現象を応用したもので、タイヤの回転に伴う接地面での変形により、発電デバイスが効率良く電力を生み出すものです。

本開発は左記のような、タイヤの内側に取り付ける直接式TPMS (タイヤ空気圧監視システム) などのセンサー類の電力供給源としての応用が期待でき、将来的にバッテリー不要のデジタルツールを活用したサービス創出に貢献できると考えています。

なお、本開発は2018年10月に国立研究開発法人科学技術振興機構の研究成果最適展開支援プログラム シーズ育成タイプFS\*に採択され、同機構の支援を受けながら開発を進めています。

\*「シーズ育成タイプFS」: 大学等の研究成果に基づく技術シーズの可能性・実用性検証を行い、中核技術の構築を目指す産学共同の研究開発を支援するプログラム。

次ページの「タイヤ周辺サービスの共同研究」もご参照ください。

### 3 群馬大学と完全自動運転に対応した、 タイヤ周辺サービスの共同研究を開始

本共同研究は、センサーで走行時のタイヤ空気圧・温度を監視し、パンクなどのトラブル発生時のメンテナンスに対応するものです。タイヤに関する異常を感知した際に、行動判断に必要な情報を群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センターに設置された自動運転管制所に提供することで、完全自動運転「レベル4\*」が実現された時代でも、安全な運行ができるようなタイヤサービスの構築を目指しています。

この研究成果を、「レベル4」の高度運転自動化に求められるインテリジェントタイヤの開発や、デジタル技術を活用したタイヤサービスの実装にフィードバックし、次世代モビリティに適した安全で事故のない社会づくりに貢献してまいります。



実証実験車両(自動運転車)

\*「レベル4」：5段階ある自動運転のレベルのうち、走行環境を限定した形で完全自動運転を実現する自動運転技術。

#### ■群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター(CRANTS)

次世代自動車産業振興に資する産学官連携イノベーションの拠点形成を目指し、次世代モビリティシステムの社会実装研究と開発、高度人材育成を目的として2016年に設立。同年から群馬県桐生市内で自動運転自動車の公道実証実験を開始。

代表取締役 社長  
山本 啓

### Top Message

## 新たな 挑戦により成長を続け、 真に価値のある企業へ

### 増収減益となったものの、 ほぼ期初見込み内に着地

当第2四半期連結累計期間(2019年1月1日から2019年6月30日まで)の世界経済は、米国や欧州では景気回復の動きが持続しましたが、中国の景気は緩やかに減速し、先行きに不透明感が増えています。国内経済では、雇用環境は着実に改善し、個人消費の持ち直しや設備投資が増加傾向にあるなど、緩やかに回復しました。

当社グループを取り巻く情勢は、天然ゴム価格相場は低位安定的でしたが、石油系原材料価格は上昇し、主力のタイヤ事業の減益要因となりました。販売環境としては、競争激化は継続していますが、概ね想定範囲内で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、低燃費タイヤ・ハイパフォーマンスタイヤといった高付加価値商品の拡販、欧米での販売力強化等に加えて、新市場・新分野に積極的

に挑戦し、グループを挙げて事業の成長と収益力の向上を目指して様々な対策に取り組みました。

この結果、当社グループの連結業績は、売上収益は前年同期比で0.9%増加したものの、原材料価格・為替の影響が響き、事業利益・営業利益ともに40%弱減少し、四半期利益も前年同期比で55.5%の減益となりました。(詳細は下記「連結財務ハイライト」をご覧ください。)

事業セグメント別では、タイヤ事業については欧州・米州地域で「ファルケン」ブランドの販売を伸ばしましたが、原材料価格の悪化や固定費・経費の増加等により、増収・減益となりました。

スポーツ事業では、主にゴルフ、テニス用品の販売減等が影響し、減収・減益となりました。

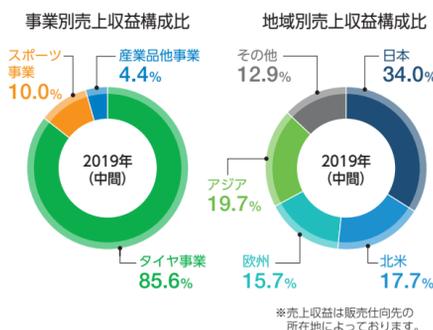
産業品他事業では、医療用精密ゴム部品や制振事業が堅調に推移しましたが、OA機器用精密ゴム部品の受注減等があり、全体としては減収・減益となりました。

### 連結財務ハイライト

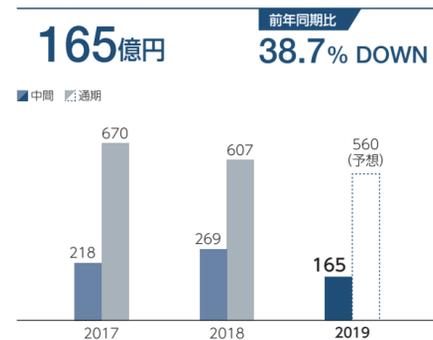
### CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

(注)当社グループは、財務情報の国際的な比較可能性向上と、経営管理の品質向上のため、2016年12月期より国際会計基準(IFRS)を適用しました。また、記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

#### 売上収益(億円)



#### 事業利益(億円)



#### 親会社の所有者に帰属する四半期利益(億円)



#### 業績予想(億円)

	2017年 通期実績	2018年 通期実績	2019年 通期予想
売上収益	8,779	8,942	9,200
事業利益 <sup>※1</sup>	670 (7.6%)	607 (6.8%)	560 (6.1%)
営業利益(率)	674 (7.7%)	572 (6.4%)	540 (5.9%)
当期利益 <sup>※2</sup>	470	362	340

※1 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しており、日本基準の営業利益に概ね相当します。当社の業績を評価する上で有用な情報であると考え、追加的に開示しております。

※2 親会社の所有者に帰属する当期利益は、日本基準の親会社株主に帰属する当期純利益にあたります。

#### 配当金(円)・配当性向(%)



#### PBR(倍)



### 事業別ハイライト

### HIGHLIGHTS BY BUSINESS

#### タイヤ事業

ミニバン特有のふらつきを抑えた  
快適なタイヤ  
「エナセーブ RV505」を新発売

多人数乗車でのカーブ時や不意な横風により特有のふらつきが発生するミニバン。ダンロップ「エナセーブ RV505」は、新開発の「FUNBARI TECHNOLOGY(ふんぱりテクノロジー)」を採用することで耐ふらつき性能を19%、耐偏摩耗性能を53%向上\*させ、安定した直進・コーナリング性能とロングライフを両立。さらに静粛性能も高めることで、静かで快適な車内環境も実現いたしました。

\*従来品「エナセーブ RV504」との比較。



#### スポーツ事業

世界初、超分子SeRM®で攻める、飛ばせ  
NEW「スリクソン Z-STAR シリーズ」  
を発売

プロ、上級者から「風に強い」「とにかく飛ばす」「スピニングが効く」と支持されているゴルフボール「スリクソン Z-STARシリーズ」の新モデルを2月に発売。高分子材料SeRM®(セルム)®を世界で初めてゴルフボールに使用。飛距離性能とスピニング性能を高次元で両立し、更なる進化を遂げました。7月に、全英オープンで当社契約のシェーン・ローリー選手がこのボールを使用し、優勝しました。

※SeRMは東京大学伊藤耕三研究室で開発された技術で、アドバンス・ソフトウェア株式会社(株)の商標です。



#### 産業品他事業

商品ラインアップ拡充で  
トータルサポート  
「ダンスロープミニ」を新発売

家庭・介護・健康用品販売子会社(株)ダンロップホームプロダクツでは、従来より車いす用可搬形スロープ「ダンスロープ」を販売し、一般のお客さまや鉄道・航空会社等から軽量性や利便性をご評価いただいています。今回発売の「ダンスロープミニ」は小さな段差のある場所に常時置いておくもので、屋内・屋外どちらでも使用でき、トータルにお客さまの生活をサポートしてまいります。



## 会社・株式情報

## CORPORATE PROFILE / STOCK INFORMATION

## 会社の概要

(2019年6月30日現在)

創業	1909年10月4日
資本金	42,658,013,576円
従業員	7,341名
本社	神戸市中央区脇浜町三丁目6番9号 電話078-265-3000(代表)
東京本社	東京都江東区豊洲三丁目3番3号 豊洲センタービル 電話03-5546-0111(代表)
工場	
〈タイヤ事業〉	白河・名古屋・泉大津・宮崎・ インドネシア・中国(常熟・湖南)・ タイ・ブラジル・南アフリカ・ トルコ・米国
〈スポーツ事業〉	市島・宮崎・インドネシア・ フィリピン
〈産品事業〉	加古川・泉大津・マレーシア・ 中国(中山)・ベトナム・スイス・ スペイン

## 取締役、監査役および執行役員

(2019年6月30日現在)

代表取締役 取締役会長	池田 育 嗣	執行役員	藤本 紀 文
代表取締役 社長	山本 悟 (社長)	執行役員	小野 正 晴
代表取締役	西 実 (副社長)	執行役員	吉岡 哲 彦
代表取締役	木 滑 和 生 (副社長)	執行役員	小松 俊 彦
取締役	伊井 康 高 (専務執行役員)	執行役員	増田 智 彦
取締役	石田 宏 樹 (常務執行役員)	執行役員	村岡 清 繁
取締役	黒田 豊 (常務執行役員)	執行役員	西野 正 貴
取締役	原田 直 典 (常務執行役員)	執行役員	増田 栄 一
取締役	谷川 光 照 (常務執行役員)	執行役員	齋藤 健 司
社外取締役	高坂 敬 三	執行役員	村上 博 俊
社外取締役	村上 健 治	執行役員	リチャード・スモールウッド
社外取締役	谷 信	執行役員	川松 英 明
常勤監査役	田中 宏 明	執行役員	大西 章 夫
常勤監査役	河野 隆 志	執行役員	家根谷 尚 文
社外監査役	村田 守 弘	執行役員	田中 敦 彦
社外監査役	赤松 哲 治	執行役員	山下 文 一
社外監査役	アスリ・チョルパン	執行役員	渡辺 泰 生
常務執行役員	山田 直 樹	執行役員	リアズ・ハフェジ
常務執行役員	青井 孝 典		
常務執行役員	西口 豪 一		

※取締役の( )内の役職は、執行役員としての役職を表しております。

## 株式の概要

(2019年6月30日現在)

発行可能株式総数	発行済株式の総数	単元株式数	株主数
800,000,000株	263,043,057株	100株	36,716名

## 大株主

(2019年6月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友電気工業(株)	75,879	28.85
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	11,727	4.46
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	10,054	3.82
全国共済農業協同組合連合会	7,331	2.79
(株)三井住友銀行	5,215	1.98
JP MORGAN CHASE BANK 385632	5,063	1.93
住友商事(株)	4,805	1.83
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	4,626	1.76
SMBC日興証券(株)	4,529	1.72
JPモルガン証券(株)	3,827	1.46

※持株比率は自己株式(36,847株)を発行済株式の総数から控除して算出しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定める日
公告の方法	電子公告。ただし、不測の事態により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	<a href="http://www.srigroup.co.jp/">http://www.srigroup.co.jp/</a>
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部
郵便物送付先および電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行事務センター ☎0120-782-031(フリーダイヤル)

10年の節目を迎え、さらに充実  
住友ゴムCSR基金

2009年、社員が間接的に参加できるボランティア活動の一環として発足した住友ゴムCSR基金。社員からの寄付と、その同額を会社が拠出するマッチングギフト方式を採用し、環境保全や災害支援、交通安全、地域課題解決等の活動を行っているNPOやボランティア団体に助成するもので、事業の計画性・効果・継続性等を基準に選考しています。2018年度までにのべ249団体による活動を対象に総額5,806万円の助成を行いました。

開始から10年目を迎えた2019年度は、初めて単年度の助成金が総額1,000万円を超え、47団体を対象に総額1,109万円の助成を実施しました。

助成先団体様からは「従業員様の想いが込められた助成金ですので有効に使わせていただきます。」など、感謝のお言葉もいただいております。今後も引き続き、地球環境問題や社会問題解決に向けた多様なCSR活動を支援してまいります。



2019年目録贈呈式(神戸本社地区)

## 株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせたいため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com/>  
アクセスコード 5110

いいかぶ 検索

空メールによりURL自動返信  
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。  
ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を呈呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2media)についての詳細<https://www.a2media.co.jp/>  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-6779-9487(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

当冊子に記載されている業績予想に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社および当社グループの事業を取り巻く様々な要因の変化により、記述されている予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

# 住友ゴム

冬タイヤは3つの基準で選ぼう。\*

🌿 効きもち!

❤️ ロングライフ!

❄️ 氷にギュッ!

## 驚きの超密着。

# WINTER MAXX 02

ダンロップ 検索

0120-39-2788 <https://tyre.dunlop.co.jp/>

※ダンロップの基準であり、タイヤ業界全体の基準ではありません。

大切な人を守るため、タイヤの空気圧チェックをよびかけています。空気入りタイヤを実用化したダンロップの責任だから。